【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公開番号】特開2007-166897(P2007-166897A)
【公開日】平成19年6月28日(2007.6.28)
【年通号数】公開・登録公報2007-024
【出願番号】特願2006-339754(P2006-339754)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　3/46　(2006.01)
Ｈ０２Ｐ　9/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　3/46　Ｂ
Ｈ０２Ｐ　9/04　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月8日(2009.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
複数の発電機を有する発電システムの場合、場合によっては個々の発電機の有効成分および無効成分を含む配電を制御し、あるいは配電を平衡させることが望ましい。このような制御を意図する場合、発電システムは、個々の発電機に機械動力を提供する個別の原動機を備えることになることがしばしばである。個々の発電機毎に独立した原動機を使用することにより、原動機の印加動力の調整および発電機間の交流電力の相対位相角の調整を介して電力出力を制御することができる。単一の発電機を１台の原動機に結合することは、特定の用途には適切である場合もあるが、このような構造には限界がある。例えば、航空機は、発電機を駆動するための有限数の原動機を備えている。航空機が２基のガスタービンエンジンを搭載している場合、タービンが駆動することができるのは、同じグリッドに接続されている２台の発電機のみである。発電機を追加する必要がある場合、１台の原動機に追加発電機を接続することができる。しかしながら、理解されるように、複数の発電機を単一の原動機に結合することは、発電機によって出力される電力の、共通の原動機の調整を介した制御、または機械的に結合された、位相角を調整することができない発電機の調整を介した制御を妨害することがある。また、このような調整を実施することができないため、所与の発電システムの電力定格に悪影響を及ぼしている。
【特許文献１】米国特許第１６９９１２８号明細書
【特許文献２】米国特許第２００８５０６号明細書
【特許文献３】米国特許第２４６５８２６号明細書
【特許文献４】米国特許第４７５７２４９号明細書
【特許文献５】米国特許第５０８３０３９号明細書
【特許文献６】米国特許第５４３４４５４号明細書
【特許文献７】米国特許第５６４６４５８号明細書
【特許文献８】米国特許第５９７３４８１号明細書
【特許文献９】米国特許第６２１８８１３号明細書
【特許文献１０】米国特許第６６５３８２１号明細書
【特許文献１１】米国特許出願公開第２００５／００１２３３９号明細書
【特許文献１２】米国特許出願公開第２００６／０００４５３１号明細書

【特許文献１３】英国特許第８７１０５６号明細書
【特許文献１４】英国特許第２１０１６９１号明細書
【特許文献１５】国際公開第２００６／０１０１９０号